

平成 16 年度 地震関係基礎調査交付金

三河地域堆積平野地下構造調査

(地震探査)

成果報告書

付録 4 測量作業概要

1. 緒言

平成 16 年度「三河地域堆積平野地下構造調査」に付帯する測量作業を実施した。

2. 作業概要

(1) 作業地域

愛知県碧南市、高浜市、刈谷市、大府市、半田市、知多郡東浦町

(2) 作業者及び期間

作業者	期 間
嶋田 靖久	自 平成 16 年 8 月 13 日 ~ 至 8 月 28 日
池田 哲	自 平成 16 年 8 月 13 日 ~ 至 8 月 27 日
川辺 尚太	〃
渋谷 豊憲	自 平成 16 年 8 月 16 日 ~ 至 8 月 27 日
朝日 哲夫	自 平成 16 年 8 月 13 日 ~ 至 8 月 17 日

(3) 主要機材

機 材 名 称	摘 要	数 量
車 輜	ワゴン車	1 台
トータルステーション	トプコン CS-101	1 台
データコレクタ	トプコン FC-7	1 台
計算ソフトウェア	アイサンテクノロジー Wing-Neo	1 式

3. 測量方法

(1) 測線測量

計画測線上に受振点を 25m(標準)、発震点を 75m(標準)間隔でそれぞれの位置を木杭で表示した。

(2) 多角測量

国家三角点を与点として、測線付近に多角測量及び細部測量を実施した。

(3) 水準測量

多角測量と同時に間接水準測量を実施した。

(4) 使用基準点

本作業で使用した国家三角点を以下に記す。

点 名	等 級	1 / 5 万地形図名
棚尾村	二等三角点	半田
新川中学校	四等三角点	〃
天王	〃	〃
境橋	〃	豊田

(5) 測地諸元

本作業で使用した測地諸元を以下に記す。

準拠楕円体	GRS80
長半径	6,378,137.000m
短半径	6,356,752.314m
投影法	TM 図法
座標系	平面直角座標 第7系
座標原点 緯度	36-00-00 N
” 経度	137-10-00 E
縮尺係数	0.9999
北方加数	0.0 m
東方加数	0.0 m

4 . 備 考

本作業で使用した国家三角点の埋設状況は、良好であった。尚、既存資料の座標系と合わせるために、準拠楕円体に BESSEL (TOKYO DATUM) を用いた測量データに変換してデータ解析に用いた。

以 上